

# 持続可能な開発目標達成に向けた国際教育協力日本フォーラム

堀井巖外務大臣政務官冒頭ご挨拶

(2018年3月8日 於:文部科学省第一講堂)

## 1. 冒頭

本日は、「持続可能な開発目標達成に向けた国際教育協力日本フォーラム」に御参加いただき、厚く御礼申し上げます。

今回のフォーラムでは、「SDGsが求める教育の質:教育政策の現状と課題」をテーマに、教育の質の改善や日本と途上国の教育政策の課題について議論を深める機会となることを期待しております。

## 2. 日本政府の取組

将来を担う子供たちが、持続可能な社会の創り手となるためには質の高い教育の提供が必要不可欠です。そのためには、若い世代に希望あふれる社会を引き継ぎ、子どもたちに健やかな教育環境を創ることが大切だと考えます。

我が国は、<sup>エスディージーフォー</sup>SDG 4の達成に向け、2015年9月、開発協力大綱に基づき、「平和と成長のための学びの戦略」を策定しました。その中で我が国は特に3つの取組を重視しています。第一に、質の高い学びに向けた教育協力です。人間一人ひとりが、自らの資質を開花させていく上で必要な技能・スキルの習得を支援します。第二に、産業・科学技術分野における人材育成と持続可能な開発のための教育協力です。社会・経済の持続的発展・産業の発展に必要な科学的知識、技術、スキルの習得を支援します。第三に、これら二つの重点的取組を実現するために、国際的・地域的な教育協力ネットワークを構築し、拡大します。SDG4の達成にむけ、国際社会においてこれまでの日本の国際的な教育協力の成果を発信していくとともに

に、UNICEF、UNESCO などの国連機関や地域機関、教育のためのグローバル・パートナーシップ(Global Partnership for Education : GPE)を含む国際的なパートナーシップとの連携を強化します。また、官民の連携を強化し、オールジャパン体制で教育協力に取り組めます。

昨年7月、ニューヨークの国連本部で開催された持続可能な開発のための国連ハイレベル政治フォーラムにおいて、我が国は、SDGsに係る国際協力を推進していく旨を表明し、とりわけ、子ども・若年層に焦点を当てて、教育やジェンダー分野等を中心に2018年までに10億ドル規模の支援を実施する旨表明しました。

また、昨年12月末に開催されたSDGs推進本部第4回会合で決定された「SDGsアクションプラン2018」では、柱の一つとして、SDGsの担い手としての次世代や女性のエンパワーメントが掲げられています。SDGsを主導する人材育成は大変重要であり、今後とも、日本は教育分野における国際協力を積極的に取り組んでいく考えです。

### **3. 結語**

最後に、改めて今回のフォーラムが実りあるものとなりますことを祈念いたしまして、私の挨拶とさせていただきます。

御清聴ありがとうございました。

(了)